

先日、室内でジャンケン列車というゲームをみんなで楽しみました。このゲームを始めた当初は、ジャンケンのルールの理解にまだ個人差があり、保育者の仲立ちが必要な場面が多くありました。

しかし、今回様子を見守っていると、ジャンケンをする相手がいなくて友だちがいるのを見て声をかけに行ったり、友だちのジャンケンの様子を側で見守り、「頑張れ」「勝ったね！すごい」と励ましたり気持ちに共感したりする姿が見られました。友だちのことを思って行動する様子や、喜びを分かち合おうとする姿に成長を感じました。

この1年で、心も体も大きくなった子どもたちです。『次はひつじ組になるんだ！』という喜びも胸に日々過ごしています。神さまや保護者の方の見守りの中で大きくなった喜びをいっぱいを感じながら残りの日々も過ごしていきたいと思います。



2月にクッキングをしていた時のこと。側に雛人形があり、それを見てAくんが一言。

Aくん「先生、ひなにんぎょうが  
見てるよ。おいしそうだなって  
見てるのかな…」

笑顔で話すAくんの姿に、  
心がほっこりしました。

ひつじ組での生活も残り1ヶ月になりました。楽器あそびを楽しむ中で友だちと気持ちを合わせる経験、同じ目標に向かって繰り返し楽しむ経験をした子どもたちは、今、自信をもっていきいきとした姿が見られています！

この一年間、楽しいことや嬉しいことはもちろんたくさんありましたが、気持ちがぶつかり合い、折り合いをつけることが難しい場面もあり、何度もみんなで話し合ってきました。今では自然と友だちの気持ちに寄り添ったり、譲り合ったり、自分たちで話し合っ解決しようとしたりといった姿も見られています。一つひとつのことに心を動かしてきたことが、今のひつじ組の成長した姿につながっているのだと感じています。その喜びと自信をもって進級できるように、残りの日々も大切に過ごしていきたいと思います。



クッキングで五平餅づくりをしていた時のことです。

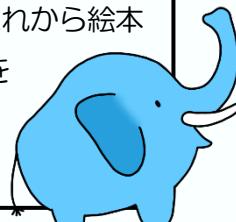
保育者「自分の分とお友だちの分、  
合わせて2つ作ってね。」

Aくん「1本目よりも2本目のほうが  
きれいにできた！こっちを  
お友だちにあげよーっと。」

友だちを思いやるAくんの気持ちが  
伝わってきて嬉しくなりました。

保育センターでの生活も、残すところ1ヶ月となりました。

子どもたちも「卒園」「就学」ということを意識してきているようで、「ずっと、センターがいいなあ」「えーっ、小学校楽しみやん！」「寂しいなあ…」「勉強ってどんなかな？」と喜びを感じている反面、不安を抱えている様子も見られます。3月はお別れ会やお別れ遠足などを予定しており、14日(土)はいよいよ保育修了式です。楽しい思い出をたくさん作りながら友だちとの関わりを深め、残りの日々も大切に過ごしていきたいと思います。また、先日、上ヶ原小学校で1年生との交流会がありました。交流を通して学校見学をしたことや、これから絵本なども用いて小学校生活について知りながら、少しでも不安を取り除き、就学を楽しみに待てるように準備を進めていきたいと思ひます。



子どもたちが園庭で長縄  
跳びの入り込みに挑戦しようと  
していた時のできごとです。

上手く跳べずに目に涙を浮かべる  
Aちゃん。するとみんなが…

「がんばれ～、Aちゃん！！」

「跳べるよ！！」

「いまっ(入り)！！」

友だちの応援、後押しがあり、その後  
自分を奮い立たせたAちゃんは、  
入り込みに成功しました！！  
子どもたちの、友だちを想う  
優しさに心が温かく  
なりました。